

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あそびのひろば こかげ (児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業)		
○保護者評価実施期間	2024年11月15日		～ 2024年12月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30人	(回答者数) 27人
○従業者評価実施期間	2025年3月3日		～ 2025年3月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方と顔が見える関係づくりを重視し、いつでも気軽に保護者の方が相談できる環境をつくっていること。	活動終了後には、必ず保護者の方にお迎えにきていただき、その日のお子さんのご様子をお伝えしている。その際に、保護者の方からのご相談等お受けしている。	ご相談内容によっては面談でのご相談も可能であることを丁寧にお伝えしていく。
2	お子さん一人一人が理解しやすい環境設定と視覚支援を行い、コミュニケーションの幅を広げていけるような支援を行っていること。	構造化や絵や写真カード、スケジュールを用いた伝達方法を取り入れ、お子さんが自分で理解し、自分で行動できるような支援を行っている。	お子さんが自ら自分の要求や気持ちを伝えられるよう、「発信」方法身に付けていく支援を児童発達支援事業で行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子さんの就学時や小学校卒業時に、進学先との情報共有を積極的に行っていないこと。	必要に応じて、お子さんの情報を共有する個別の情報シートを作成し、保護者の方にお渡しをしているが、進学先等関係機関から求められていない場合は事業所から連絡をとることができていない。	進学先等関係機関から情報共有を求められていない場合でも、個別情報シートを作成し、必要に応じて直接連絡をとる等お子さんが円滑に安心して進学できるよう支援を行っていく。
2	危機管理に係るマニュアル等を職員間で共有することが不足していること。	危機管理に関する各事象に対しては、その対応方法を職員間で会議を通して確認しているが、それらに関するマニュアルまで再度確認する意識が不足していたため。	職員会議を通して意識的に各マニュアルの確認を職員間で行っていく。
3			